【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【公表番号】特表2009-539507(P2009-539507A)
【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-046
【出願番号】特願2009-514595(P2009-514595)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/06　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月2日(2010.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マスクアセンブリ(１０)用の前額部サポート(１２)であって、
マスクフレーム(１４)に対して設けられたフレームコネクター(２０)と、
前記フレームコネクター(２０)に対する後退ポジションと突出ポジションとの間での略直線移動のために、動作可能に前記フレームコネクター(２０)に配設された前額部クッションサポート(６０)と、
前記フレームコネクター(２０)に移動可能に配設され、かつ、前記前額部クッションサポート(６０)と螺合させられた調整ノブ(４０)であって、この調整ノブ(４０)の回転動作によって前記前額部クッションサポート(６０)が後退ポジションと突出ポジションとの間で移動させられるようになっている調整ノブ(４０)と、
を具備してなり、
前記調整ノブ(４０)、前額部クッションサポート(６０)およびフレームコネクター(２０)は、前記前額部クッションサポート(６０)の前記突出ポジションを越える前記調整ノブ(４０)の過回転によって、前記前額部クッションサポート(６０)および前記フレームコネクター(２０)から前記調整ノブ(４０)が分離するよう配置構成されていることを特徴とする前額部サポート(１２)。
【請求項２】
前記調整ノブ(４０)は、前記前額部クッションサポート(６０)から前記調整ノブ(４０)を分離させるために、調整のためのトルクを超える過大なトルクが加えられることを特徴とする請求項１に記載の前額部サポート。
【請求項３】
前記調整ノブ(４０)は、スナップ式嵌合によって、前記フレームコネクター(２０)に取り付けられることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の前額部サポート。
【請求項４】
前記調整ノブ(４０)は、前記フレームコネクター(２０)に設けられた保持機構部(２４)と係合する環状リム(５０)を有するセグメント(４８)を備えることを特徴とする請求項３に記載の前額部サポート。
【請求項５】
前記セグメント(４８)は、このセグメントを二つの弾性アーム(５２)に分割する二つの

割れ目(４９)を備え、前記弾性アームは、スナップ式嵌合によって、リム(５０)が前記保持機構部(２４)と係合することを可能とするために撓むことが可能となっていることを特徴とする請求項４に記載の前額部サポート。

【請求項６】

前記フレームコネクター(２０)は、少なくとも二つの保持機構部(２４)を備えることを特徴とする請求項４または請求項５に記載の前額部サポート。

【請求項７】

前記セグメント(４８)は、前記保持機構部を受けるよう構成されたリムに隣接する環状リセス(１７５１)を備えることを特徴とする請求項４ないし請求項６のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項８】

前記調整ノブ(４０)は、前記前額部クッションサポート(６０)に対して設けられた雌ネジ付きチューブ(６２)と螺合するネジ付きシャフト(４２)を備えることを特徴とする請求項１ないし請求項７のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項９】

前記チューブ(６２)は、前額部クッション(９０)を支持するよう構成された前額部クッションサポートプレート(６４)に対して連結されていることを特徴とする請求項８に記載の前額部サポート。

【請求項１０】

前記チューブ(６２)は、前記前額部クッションサポート(６０)の回転を阻止するために、前記フレームコネクター(２０)に設けられた、それぞれの突出部(２２)を受け入れるキー溝(７２)を備えることを特徴とする請求項８または請求項９に記載の前額部サポート。

【請求項１１】

前記チューブ(６２)は、前記フレームコネクター(２０)内への前記チューブ(６２)の挿入を可能とするために撓むことが可能な二つの弾性アーム(７０)へと前記チューブ(６２)を分割する、二つの割れ目(６８)を備えることを特徴とする請求項８ないし請求項１０のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項１２】

前記チューブ(６２)にはポジションマーキングが設けられていることを特徴とする請求項８ないし請求項１１のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項１３】

前記チューブ(６２)は、前記調整ノブ(４０)、前額部クッションサポート(６０)およびフレームコネクター(２０)の意図しない分離を阻止するためのストッパーを備えることを特徴とする請求項８ないし請求項１２のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項１４】

前記調整ノブ(４０)は、ラチェットバンプ(５６)を有する弾性プロング(５４)を具備し、前記ラチェットバンプ(５６)は、指標付き増分調整を実現するために、前記フレームコネクター(２０)に設けられた一連のリッジ(２６)と選択的に係合するよう構成されていることを特徴とする請求項１ないし請求項１３のいずれか１項に記載の前額部サポート。

【請求項１５】

着用者に呼吸に適したガスを供給するためのマスクアセンブリ(１０)であって、

マスクフレーム(１４)と、

前記マスクフレーム(１４)に対して配設されたクッション(１６)と、

請求項１ないし請求項１４のいずれか１項に記載の前額部サポート(１２)と、

を具備してなることを特徴とするマスクアセンブリ(１０)。